

クロスコンプライアンスの生産者等への周知活動

環境負荷低減のクロスコンプライアンス（みどりチェック）の意義・必要性が、全ての生産者までしっかり伝わるようＪＡ広報誌等に掲載を依頼し、20ＪＡ中、14ＪＡで掲載

〇 施策分類

＜みどりの食料システム戦略＞

クロスコンプライアンスの生産者等への周知を図る。

〇 きっかけ・背景、課題の把握

令和6年6月に、当省のみどり戦略グループから、全国の地域拠点に対し環境負荷低減のクロスコンプライアンス（みどりチェック）について指示があり、地域拠点において市町村、ＪＡの協力を得て生産者の方々にしっかり伝え理解していただくようにとのことであった。

〇 取組の内容

管内全ての市町村、ＪＡに趣旨説明を行うとともに、生産者へクロスコンプライアンスの意義・必要性を広く周知するために最も有効な手段として、ＪＡ組合員等へ配布されているＪＡ広報誌等へ掲載依頼を6月下旬から7月中旬にかけて行った。

具体的な依頼については、メール、電話及び対面により行い、広報誌誌面の広さを考慮し、数種類の原稿を作成し依頼時に提供することで対応しやすくした。

〇 効果・成果、今後の方向性

管内20ＪＡ全てに依頼を行い、掲載時期の違いはあったものの、14ＪＡの広報誌等へ掲載された。

また、「見える化」の周知活動としてＪＡ販売所及び道の駅等を訪問した際、併せて出荷者に対してチラシの配布依頼を行った。

今後は、生産者が集まる研修会等において周知を行うなど、引き続き生産現場まで行き届く取組を行う。



JA福岡市広報誌「Jam 1月号」

体制図

